

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十五年六月度 入選句（投稿総数千九百七十七句・一般投句数五百八十二句）

特選 選者 長野 美代子

蝸牛しやがんだ子らの目が光る 大垣市 谷 彩虹

今年も梅雨となり、垣根などで蝸牛を見かけるようになった。子供は見つけることが早い。ゆつたりと右に左に首を廻しつ重い殻を背負って前へと……見つけた子はしやがみ込んでじつと観ている姿が読者に伝わる佳句です。「目が光る」がいいです。

子には子の丈に風あり紙風船 大垣市 棚橋 みさを

今月は子供さんを詠った句が目につきました。樹の梢に吹く風、私共が感じる涼しい風、子供に吹く風、「子の丈に風あり」とは素晴らしい発見です。感銘しました。季語の紙風船もなつかしいです。

珈琲の幽かな香 蕙 若葉 埼玉県さいたま市 齊藤 博之

この句を見て浮んでくるもの。ヨーロッパなどで見る赤煉瓦のカフェの窓辺に若い蕙の葉が朝風に少し揺れてゐる様な静かな心やすらぐ一刻が浮んできます。きっとコーヒーもおいしいと思います。

秀逸

新学期学生服の背すじのび 大垣市 中尾 恭子

吹き抜ける風に吹き寄る春落葉 不破郡垂井町 北村 廣美

えさはかぜおよぎはばたけこいのぼり 大垣市 篠田 稔

嬰のもの干せば集る若葉風 大垣市 下村 常子

瀬音とも風の音とも山開 大垣市 佐藤 すみ子

草も木も雨も匂ひて蝸牛 大垣市 森 芳昭

たて髪はやうな水草夏の川 三重県桑名市 森 美音

青薦に窓を捕はる閑居かな 大垣市 北浦 典子

夏めくや竹ざる匂ふ荒物屋 各務原市 清水 雅子

忙がしく納屋へ出入りの夏つばめ 大垣市 岡田 あや子

入選

北国径田水の鳴って夏に入る
旅の手にすくひてこぼす清水かな
湧水を汲みて目高の水を替ふ
梅雨晴間手鉞でうなふ婆ひとり
新緑を縫ひて流るる水門川
父の日や施設の父のきれいな手
老鶯やふいに話に入りこむ
蔵壁の影を水面に糸とんぼ
波うつて夕日を返す麦の秋
無何有荳芭蕉巻葉を解く日ざし

不破郡垂井町	服部 智恵
徳島県阿南市	滝川 興樹
愛知県刈谷市	若原 康行
大垣市	野村 多佳子
大垣市	伊藤 有紀
養老郡養老町	田中 紫香
福井県福井市	三ツ山 ひろし
大垣市	森川 きよ子
福井県福井市	三ツ山 しげ子
愛知県半田市	安野 美根子

入選

高原に牛の草喰む薫風裡
若葉風ふわりと乗せる紙飛行機
廃駅の切符売場やつばめの巢
若葉明り水明りして山の道
舟頭の櫓櫓に乱れ花筏
糸取女湯舟の中に繭おどる
草とりのふと手をとめてすみれ草
畦草を刈りて始まる田代掻
万緑の中や笹の葉触れる音
でで虫とひと遊びして登園児

大垣市	喜田 守
不破郡垂井町	小竹 政子
大垣市	川瀬 貞枝
愛知県瀬戸市	田村 清美
福井県越前市	中山 昭子
不破郡垂井町	児玉 昌巳
大垣市	竹野 美咲子
大垣市	田村 久夫
大垣市	佐竹 幸子
福井県敦賀市	山田 美千代

選者吟

若葉木洩れ日石段は真つ直ぐに

美代子